



卒業式練習

十三日、卒業式の全体練習を行いました。今年度は、四、五年生も参加して実施します。式の順序や式の最中の姿勢、礼の仕方など、基本的なことを一つ一つ確認しました。別れの言葉では、初めてセリフを通して練習しましたが、大きな声ではっきりと、心をこめて言うことができました。歌も伴奏をよく聴いて、心を一つに歌うことができました。十五日には予行練習が予定されています。今回の反省を生かして、さらに動きやセリフ、歌に磨きをかけ、自信をもって臨んでほしいと思います。



立派です

文責 本宮小校長 佐久間仁

放送集会（黙祷）

十一日、放送集会を行いました。震災の教訓を伝えるとともに、亡くなられた方々のご冥福を祈って半旗を掲げ、黙祷を行いました。



【校長講話】

二〇二一年三月十一日、太平洋を震源とする大きな地震が起きました。東日本大震災です。この地震によって、福島県を広くむ広い地域で、地面にひびが入ったり、斜面がくずれたり、建物が壊れたりする被害が出ました。（中略）

海に近い地域では、大津波が発生し、多くの方が波にのみこまれて亡くなりました。今でも行方分からない方がおり、警察や家族の方による捜索が続いています。この津波によって原子力発電所の機能が失われ、建屋が爆発を起し、放射性物質が飛び散って、県内の多くの場所で放射線量が高くなりました。学校では放射線量を低くするため、校庭の表面の土をけずってうめたり、高圧洗浄機で壁やプールを洗ったりしました。

原子力発電所の廃炉作業は続いており、終わるまでに数十年以上かかるといわれています。学校では今でも放射線量を測定し、安全か

どうか監視を続けています。

大震災から今日で十三年となりました。みなさんはこの大震災の後に生まれたので、大きな被害があったことはよく知らないと思います。でもまたいつ大きな地震が来ないとも限りません。一月には能登半島地震が発生し、多くの尊い命が失われました。

大切な命を守るため、学校では避難訓練をして、いざというときの行動の仕方を学んでいます。家庭においても家族の人と避難の仕方をぜひ話し合ってください。大人の方がいなくても、自分の命は自分で守れる人になってください。



命を守ろう

- ※次年度、本校では防災教育に力を入れて取り組んでいきます。市の防災アドバイザーや関係機関と連携しながら防災意識を高め、自他の命を守る力を高めていきます。具体的には次の活動を行います。
- 環境創造センター見学（二年）
- そなえる福島出前講座（四年）
- 防災教室ワークショップ（六年）
- 防災教育講話（全校）

努力をたたえて

第二回漢字検定の検定結果が届きました。合格したみなさん、おめでとうございます。合格者には「合格証書」「合格証明書」「個別成績票」が配付されます。合格した証明になりますので、ご確認の上、各ご家庭で保管ください。

【漢字検定(第二回)】



【満点合格者】	【漢字検定(第二回)】
五年 増子 めぐ	
三年 國分 心晴	今井 海鈴
國分 結月	武藤いぶき
安部 美咲	根本 心織
二年 川名 雅	宗像 陽太
一年 添田 明里	秋田 律
阿部勇太郎	

※満点での合格、素晴らしいです。これからも努力を続けてください。

【お願い】

マチコミメールでもお伝えしておりますが、インフルエンザの感染者が増えております。（二年〇名 二年二名 三年四名 四年十一名 五年一名 六年七名 三月十四日現在）

この週末の過ごし方にもご配慮いただき、基本的な感染予防対策に取り組んでいただくようお願いいたします。なお、発熱等の風邪症状がみられる場合は早めに受診をお願いします。